

課題

コロナ禍により、病棟別に学習空間を分けて取り組む必要がある。そのため個別での授業になり集団での学習空間が形成できない。ネットを活用して効果的に授業を進めることはできないか。

具体的な手立て

三重県が推奨するgoogleサービス（Google Workspace(旧G Suite) Classroom）を利用して、空間は分かれるが可能な限り共に進められるように工夫する。画面はプロジェクターやテレビを活用してできるだけ簡易に設定でき、且ついつでも利用できるように工夫する。

実践事例1

朝の会

朝の会の進行を、お互いに学習空間を分ける以前の役割分担でスムーズに進められるようにしたい。

コンピュータの設定などできるだけ簡素化して、素早く対応できるように工夫する。



ホワイトボードも使った取り組みになるので、プロジェクターが使えず、画面構成に工夫が必要になるので、テレビを利用する。

朝の会での音楽利用の場合は、タイムラグはあるがさほど気にすることもなく進めることができた。朝の会の仕事分担も今まで通り行うことができ、集団で活動していることを意識することができた。

【課題】どの画像を流せば効果的な朝の会が成立するのか、固定カメラだと難しい面がある。生徒を全般的に見渡せるような画像の方が雰囲気は良く伝わるようであった。

画面構成と、音声が必要一致して上手く伝わる訳ではないので、今後は音声も別に考え、設定して行く方が良いのではないかと。音声は、どうしても聞き取りにくいことがあるので、工夫が必要である。（設定が複雑にならないようにもしたいので機器等に工夫が必要である。具体的には、Bluetoothなどの機器の充実。）

まとめ

高等部では、様々な実践を重ねる中で出てくる課題を整理し、どのように整理したら効率良く課題解決がしやすいかについて、考察した。

①機材の課題 ハードウェア ソフトウェア ②通信環境の課題 ③先生のスキルとしての課題 ④児童生徒の発達段階によるコミュニケーション等の課題
それぞれに整理してレベルアップをはかり、今後につなげていきたい。

実践事例2

美術

共同制作でそれぞれに色をつけたハートを1つの大きな台紙に貼らせたい。

前回までに仕上げたハートの作品をみんなで相談しながら場所決めを行い、共同作品を仕上げる。



カラー印刷した作品をそれぞれの場所で用意し、番号をつけて実際のサイズで共有しながら、お互い意見を出し合い貼る位置を決められるように工夫する。

ホワイトボードに作品を貼って、ホワイトボードを写しながら取り組んだ。

離れていながらも順番で取り組んで行くので、集団を意識することができた。

【課題】パソコンの前で話さないと声が小さいのでメインティチャーにマイクがあった方が良い。生徒の音が聞きづらいこともある。聞き取りやすい単語を利用すると進めやすい。

画面がホワイトボードだけになってしまうので教員や授業の様子を写すカメラと両方あると良い。

カメラで上から全体を撮っているパターンの画角もあった方が良いのではないかと。

